

冬の図書館行事「合格図書館」

学習スペース拡大で、 受験勉強に協力

冬休みから高校入試までの週末、辰口図書館では、2階の研修室を開放します。JAIST学生なども「監視員」として、協力してもらいます。高校・大学・専門学校などの受験生はもちろん、各種試験や自習のために静かな環境を望む方にぴったりの空間を用意します。

目標達成に向けての「自分勉強」を辰口図書館でしませんか？

合格図書館開催日時

平成23年12月23日(金・祝)～27日(火)
(12月26日(月)はお休み)
平成24年1月5日(木)～8日(日)
1月14日(土)～3月4日(日)の毎週土・日曜日
※時間は9時～17時



寺井図書館は親子支援に頑張っています

10月23日、乳幼児とその親を対象に「赤ちゃんとのしむおはなしコンサート」Ⅱ写真Ⅱを開きました。絵本や詩集の朗読に合わせて、チェロが奏でられました。朗読と音楽のコラボに子どもたちや感動的な詩に涙を流すお母さんの姿も見られました。

ほかに、小さな子どもを連れて来館しやすいように、デイズニーのオルゴール音楽などを流すミュージックデイも開催。さらに母親向けの育児や料理本のコーナーを絵本コーナーのそばに置くなどの工夫をしています。

辰口中3年生に JAIST教授が 熱く語る「成長への秘訣」

11月4日、辰口図書館ホールで、「合格講演会 成長への秘訣～縁・越境・変化を大切に」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の知識科学研究科教授、橋本^{たかし}敬先生の講演が開かれました。本格的な受験シーズンに突入する辰口中学校3年生は、身振り手振りを交えて熱く語る橋本先生の話に、真剣に耳を傾けていました。

橋本先生は、「言葉ってどこから来たんだろう」といった言葉の始まりやコミュニケーションの動きを科学を用いて研究する独特の学問を追究していることを紹介した上で、「自分も皆さんぐらいのころ、将来どうしようか、何になるのか、悩みました」と語りかけました。

そして、小松左京さんの『復活の日』や湯川秀樹さんの『物理の世界』といった本と出会い、科学や物理の面白さを知って理系に進んだという体験談を語りました。

さらに、大学から大学院修士課程に進学したころ、バリ島の文化を調べる現地調査に参加した体験を話し「さまざまな大学から自分の意志で参加した学生たちと出会って刺激を受け、博士課程に進むことを決めた」と話しました。

そして、研究者になってからも、本や人との出会いが従来の考え方をガラリと変え、自分の進むべき道に強く影響を与えたことを実体験を基に分かりやすく話しました。

橋本先生は「自分が今見ている世界よりも高くて広い視点からものを見ている人が必ずいる。そこに行くことが成長であり、努力をすればそこに行ける」と語りました。

そして、そのために大切にすべきこととして、「縁」「越境」「変化」を挙げ、「人と人とのつながり、人と書物とのつながりを大切にしてほしい。中学生や石川県人、理系や文系といった『枠組み』『分類』に捉われる必要はない。縁や機会を捉えて、これまでと違うこと、新しいことにチャレンジしてほしい」と生徒たちに熱いエールを送りました。

生徒たちからは「進路のことで悩んでいたが、いろいろな機会に挑戦し、本当にやりたいことを見つけない」「勉強をやりたくないと思ったら、将来の自分を思い描いて頑張りたい」などと前向きな感想が聞かれました。